

平成31年度
事務事業・施策評価シート
実績入力マニュアル（案）

【抜粋版】

平成32年1月
総務企画局企画調整課

□様式4 「施策評価シート」の入力方法について

【2 成果指標やその他成果などの状況と成果の分析】

2 成果指標やその他成果などの状況と成果の分析

実施計画に位置付けた指標名 (指標の説明)		現状値	H33年度	単位等
1	避難所運営会議を開催している避難所の割合	66	70.5	必須入力
	指標の説明 避難所運営会議開催か所数(〇か所) / 避難所数(〇か所) × 100 (%) ※H31年度実績	H26	82.3	
	116.7%	↑		
2	避難所を知っている人の割合	39	43.6	必須入力
	指標の説明 市民アンケート(無作為抽出3,000人)の避難所の確認を行っている人の割合	H	46.0	
105.5%	↑			
3	家庭	56	57.5	必須入力
	指標の説明 「指標の説明」欄で根拠となる数字を記載している場合は、出来る限り最新の値とし、どの時点の数字か、分かるようにしてください。 例: 〇〇〇 (〇〇件) ※H31年度実績 など	H	50.2	
87.3%	↑			

【達成度のイメージ】
 a: 目標値以上
 b: 現状値(個別設定値)以上
 目標値未満
 c: 60%以上 現状値(個別設定値)未満
 d: 59%以下
 などを自動判定

見込の場合は、セルを黄色で塗りつぶす。
 実績が判明していない場合は、「〇月頃判明」など入力する。

実績値の入りに伴い、「達成率」及び「指標達成度」が自動判定される。

① 必須入力 「成果指標」のH31年度実績値

設定した各成果指標の平成31年度実績値を入力する。見込みの場合は、セルを黄色で塗りつぶす(※実績がその時点で判明していない場合は、「〇月頃判明」など入力)。実績値の入りに伴い、「達成率」及び「指標達成度」が自動表示される。

※企画調整課で実施している施策レベルの市民アンケートの結果については、別添7を御覧ください。

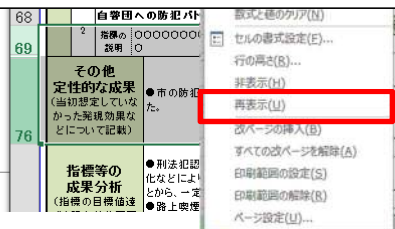
数値で把握できる補足指標 (指標の説明)		実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
1	防災協力事業所の登録数	実績	〇〇				社
	指標の説明 災害時に可能な範囲内で地域の防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧に貢献していただく企業・事業所の登録・公表数						
2	津波避難施設数	実績	〇〇				か所
	指標の説明 津波警報等発表時に市民が津波から身の安全を図るため一時的に避難する施設の数	(1) 限定入力			(2) 限定入力		

② 限定入力 「数値で把握できる補足指標 (指標の説明)」

(1) 成果指標以外に施策の成果を補足するものとして、施策の配下の事務事業において、効果が高く定量的に表すことができる実績を極力入力する(特に成果指標の数が1~2の施策は必須入力)。また、指標の説明は簡潔に入力する。

(2) (1) で記載した数値で把握できる実績(見込みの場合は数字の後に「見込」を掲載)を入力する。※補足指標は、以下の手順により、最大5個まで入力できます。

補足指標の数を追加する場合
 補足指標の最終行とその次の行を選択し
 「右クリック」→「再表示」



**補足指標の行を再表示した後
 不要な行を、非表示にする場合**
 不要な補足指標の行を選択し
 「右クリック」→「非表示」

変更点

※総合計画の外部評価を行う「川崎市政策評価審査委員会」から、成果指標の取り扱いについて、次のとおり指摘をされていることを踏まえ、上記②の項目については、外部要因の影響が大きい成果指標が設定されている場合、成果指標が「割合」で示されているが「実数」も併せて示した方が目標達成に向けたプロセスや取組の到達点が具体的にイメージしやすい場合等は、数値で把握できる補足指標欄の積極的な活用をお願いします。

例1) 施策3-3-5 多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進

成果指標の「渡し場イベントの参加者数」は、達成状況が天候に大きく左右される

→「施設整備の箇所数」など、年間を通じて安定的に測ることができ、かつ、わかりやすく事業効果を示すことのできる補足指標を設定

例2) 施策5-1-3 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

成果指標の「マイナンバーカード（個人番号カード）交付率」は割合で示されている。

→目標達成に向けたプロセス等を具体的にイメージしやすくするため、実数である「マイナンバーカード（個人番号カード）の交付枚数」を補足指標として設定

変更点

重要 川崎市政策評価審査委員会からの意見（抜粋）

✓ 市の取組による成果の的確な把握（←上記②に関連）

成果指標の中には、景気動向による変動が大きいものや、天候に左右されるもの、全国的な課題であるものなど、目標達成に至るには外部要因の影響が大きいものがいくつか見受けられます。このような場合には、実施した取組が施策全体の成果にどのように貢献したのか、その効果をよりわかりやすく示すため、必要に応じて安定的に把握できる指標を設定するなどの工夫を望みます。

成果指標の目標値については、例えば参加率という「割合」で示すのか、参加者という「実数」で示すのかを検討するなど、目標達成に向けてのプロセスや取組の到達点を具体的にイメージできるように設定する必要があります。

【 4 施策の達成状況】

4 施策の進捗状況

6

施策の進捗状況
(指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価)

区分 (1)

A. 順調に推移 (目標達成している)

B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)

C. 進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)

D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)

選択区分 (2) **必須入力**

B

相違

進捗状況区分を選択した理由

●以下の事務事業の取組のうち、公園防災機能向上事業については、熊本地震における公園の利用実態調査結果を反映させる必要が生じたことから設計・施設整備に至りませんでした。また港湾施設改修(防災・減災)事業については、東扇島9号岸壁の利用を継続する必要が生じたことから、国との調整の結果、整備時期を先送りすることとなったため、達成できませんでした。その他の事務事業については、ほぼ掲げた目標どおりに進捗しています。

●家庭内備蓄を行っている市民の割合は前年度から下落しましたが、一方で避難訓練や防災意識の啓発活動等から

次の**ポイント**を確認し、特に**相違(仮判定の方が進捗が悪い)**がある場合等は、②や③において施策における成果をしっかりと示してください。

平成31年度						施策達成度仮判定
a	b	c	d	合計	平均点	
3点	2点	1点	0点			
指標の達成度の数	0	1	2	0	3	1.333
指標の点数	0	2	2	0	4	

施策の達成度	指標の達成度の平均点
A 順調に推移	3以下～2.5以上
B 一定の進捗がある	2.5未満～1.5以上
C 進捗が遅れている	1.5未満～0.5以上
D 進捗は大幅に遅れている	0.5未満

⑥ 必須入力 「施策の進捗状況」

(1) 施策の達成状況について、指標等の成果を中心に、施策を構成している事務事業の評価(達成度)等から、総合的に判断し、次の4つの区分から選択する。

ポイント 「施策の進捗状況区分」と「指標達成度(自動判定)」の結果については、基本的に連携しています。よって、下の表のとおり施策の進捗状況区分の考え方についても、指標達成度の自動判定の考え方が前提になります。Excelの印刷範囲外に指標達成度に基づく施策の進捗状況の「仮判定」と相違(仮判定の方が進捗が悪い)がある場合は、②「その他数値で把握できる補足指標」や③「その他定性的な成果」等で、しっかりと成果を示すことで、説明責任を果たしてください。

変更点

ただし、「川崎市政策評価審査委員会」から、成果指標の取り扱いについて、次のとおり指摘をされていることを踏まえ、成果指標の達成度が外部要因の影響を大きく受けている場合、複数の成果指標を設定しており、施策の直接目標に密接に関連している等特に重視すべき成果指標がある場合などは、それらの達成度を踏まえて、施策の進捗状況区分を総合的に判断し、(2)でその理由を丁寧に説明してください。

施策の達成状況区分の考え方

施策達成状況区分	区分の説明
A 順調に推移した	目標を達成した
B 一定の進捗があった	目標未達成のものがあるが一定の進捗があった(目標と現状の間)
C 進捗が遅れた	現状を下回るものが多くあった
D 進捗は大幅に遅れた	現状を大幅に下回った

指標達成度の自動判定の考え方

指標達成度	区分の説明
a	目標値以上
b	現状値(個別設定値)以上 目標値未満
c	目標値の60%以上 現状値(個別設定値)未満
d	目標値の59%以下

連携

変更点

重要 川崎市政策評価審査委員会からの意見（抜粋）

- ✓ **市の取組による成果の的確な把握**（←上記⑥に関連）
 施策の効果測定に不可欠であるなどの理由により、外部要因の影響が大きい成果指標を設定する際には、あらかじめ市が実施した取組による影響はどの範囲なのかを十分検討する必要があります。
- ✓ **施策の効果測定における精度の向上**（←上記⑥に関連）
 施策の直接目標に密接に関連している成果指標と、目標を達成するための一つの手段に対する成果指標が並列に設定されている施策がいくつか見受けられます。このような施策の達成状況を判断する際には、施策の直接目標に密接に関連している成果指標の達成度をより重視するなど、各成果指標の施策への貢献度を勘案する必要があります。

【参考】指標の達成度と施策の達成状況の関係

①指標の達成度の点数化		事例1		事例2		事例3		事例4	
指標の達成度	点数	指標の数	合計点	指標の数	合計点	指標の数	合計点	指標の数	合計点
a	3	2	6	1	3	0	0	0	0
b	2	1	2	1	2	1	2	0	0
c	1	0	0	1	1	2	2	1	1
d	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		3	8.00	3	6.00	3	4.00	3	1.00

平均点(合計点÷指標の数)→ **2.67** **2.00** **1.33** **0.33**

②施策の達成状況の仮判定基準

施策の達成状況	指標の達成度の平均点
A 順調に推移した	3以下～2.5以上
B 一定の進捗があった	2.5未満～1.5以上
C 進捗が遅れた	1.5未満～0.5以上
D 進捗は大幅に遅れた	0.5未満

(2) (1) で選択した区分を選んだ理由を入力する。

ポイント ①「成果指標」や②「その他数値で把握できる補足指標」、③「その他定性的な成果」の結果を中心に、事務事業の評価等も含めて、「施策の直接目標」等に対して、どのような成果をもたらしたのかなどの視点で、進捗状況区分を選択した理由を具体的にしてください。特に、⑥「施策の進捗状況」で、施策の進捗状況区分と仮判定の結果に相違があった場合（仮判定Cで進捗状況区分をBとした場合など）は、進捗状況区分を変更した理由（「○○成果指標は現状よりも悪化しているが、他に○○の成果があった」など）を明確にしてください。

遅れている事務事業等がある場合の対応

※「**3 施策を構成する主な事務事業の評価**」において、「**達成度4の事務事業**」がある場合又は「**達成度3としていても一部に大きな遅れがある事務事業**」は、必ず「**4 施策の達成状況**」に「遅れている事務事業名・遅れた理由・遅れている部分」を簡潔に記載してください。

3 施策を構成する主な事務事業の評価									
番号	事務事業コード 事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費(千円)		事業の達成度	施策への貢献度	今後の事業の方向性
					予算額	決算額			
					H27年度				
					H28年度				
					H29年度				
1	10101010 防災対策管理運営事業	その他	地域防災計画や地震防災戦略の推進等、市の災害対応力の向上を図ります。	●業務継続計画(震災対策編)の改訂 ●業務継続計画震災対策編の訓練の実施(参加者総別名)	67,197	101,303	3	A 貢献している	I 現状のまま継続
2	10101020 地域防災推進事業	イベント等	自主防災組織の育成、民間企業との連携、防災訓練を通じた防災意識の向上等を通じて、共助(互助)の取組を進め、地域防災力の向上を図ります。	●自主防災組織への支援強化 ●総合防災訓練の実施(H28.8)	65,193	172,792	3	B やや貢献している	III 事業規模拡大
3	10101030 防災施設整備事業	施設の管理・運営	防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。	●同報系防災行政無線の屋外受信機の増設及び戸別受信機の更新 ●備蓄計画の改定に向けた素案作成	1,640,250	1,362,613	3	A 貢献している	I 現状のまま継続

達成度4又は達成度3でも一部に大きな遅れがあるもの

必ず、遅れている事務事業名・遅れた理由・遅れている部分を記載する

4 施策の達成状況			
施策の達成状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	達成状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移した (目標を達成した) B. 一定の進捗があった (目標未達成のものがあるが一定の進捗があった) C. 進捗が遅れた (現状を下回るものが多くあった) D. 進捗は大幅に遅れた (現状を大幅に下回った)	C